令和３年度　学校だより　学校教育目標「せいいっぱい　きたえ　のびよう　東っ子」

東白川小だより

令和４年３月７日(月)　№13

学んだこと　きたえたことを　お・は・こで伝える姿

合言葉：おおきなこえで　はっきりと　こころをこめて

「今年こそは」保護者の皆さんの前で発表を・・・と思っていた「かがやき学習発表会」でしたが、今年度もコロナウイルス感染症への対応として、校内の発表のみとさせていただきました。本当に申し訳ありませんでした。ただ、ＣＡＴＶによりすべての発表をご覧いただくことができますのでそちらを楽しみにしてください。（放映日については決まり次第ご連絡いたします。）

放映を前に各学年の発表について紹介をさせていただきます。

１年生「ぼくもわたしもはじめのいっぽ！」

体全部を使い、ランチルームの後ろまで届く大きな声を出し、この１年でできるようになったことを発表しました。なわとびの披露で、「がんばれ！」と声援を送る姿に心が温まります。２年生に向けての「はじめのいっぽ」を踏み出すことができました。

２年生「なかよしいっぱい２年生」

１年生よりも難しくなった漢字や計算。どんなふうに勉強してきたか、方法や成果を見せてくれました。また、ボールパスラリーなどへの取組を通して「みんなで力を合わせればむずかしいこともやり切れる」という大切なことを学んだ１年を振り返った発表でした。

３年生「お茶の力」

朝教室で、自分たちだけで発表の練習をしているのを見ました。「自分たちの力で」という気持ちを大切にして取り組みました。本番では、お茶がどうしてピンチなのかから始まり、自分たちがお茶について体験したことをもとに、クイズを出しながら、楽しくお茶の魅力を伝えてくれました。

４年生「山・川・海のつながりって何だろう？」

自然に囲まれて生活している自分たちが、どれほど自然に支えられているのかを１年かけて学びました。それを皆にもっと知ってもらいたいとクイズコーナーを設置したり、捨ててしまうものを使って工作をしてみたりと自分たちにできることを考え、行動に移したことが印象的な発表でした。

５年生「守り続けたい米づくり」

伝えたいことがしっかりと伝わる落ち着いた話しぶりが全校の手本となりました。今年は一通り体験できた米作りについて、自分たちがしたこと、感じたことをクイズも交えながら、分かりやすく発表できました。学習を通して自分たちの食生活について振り返ったことを今後生かしていくことでしょう。

６年生「考えよう未来のためのＳＤＧｓ」

よく聞く言葉だけど、「何？」と聞かれたら答えられないかもしれない「ＳＤＧｓ」。低学年の子たちにも分かるようにと、言葉をかみ砕きながら、ビデオや画像を提示しながら発表しました。自分たちには何ができるのかを自分たちなりに考え、最高学年として全校に呼びかけています。

この発表会で見せてくれた子供たちの姿は、取組期間だけの成果ではないと思っています。この一年間、「きたえる」「かんたんにはあきらめない」を合言葉にいろいろなことに取り組んできた、その成果がこの発表会での姿として表れたのだと思います。発表会当日の朝、ある５年生の女の子に「今日の発表は大丈夫かな？」と聞くと、「はい、大丈夫です！」と元気のよい返事でした。これは、この発表会に向けての練習をしっかりとやり切り、自分のせりふもばっちり覚えて、ということもあるでしょうが、この１年間のいろいろな場でのがんばりが自信ある答えにつながったのだと思います。コロナ禍の下、いろいろな制限がありましたが、東っ子はいつでも一生懸命です。その成果がこの発表会の姿として表れています。